

新学期の「勉強のコツ」
—自覚、学習方法、読解力—

開倫塾

塾長 林明夫

新学期ですので、勉強のコツを3つお話しします。

勉強のコツの第一は、自覚を持って学ぶことです。

特に、受験学年の皆様は「受験生としての自覚」を一日も早く持ちましょう。

何のために進学するのか、学校を卒業後、どうしたいのかなど、進学の目的を、自分の力で考えることです。

その上で、自分にとっていちばんふさわしい学校を自分の力で決め「第一希望校」といたしましょう。

「志」を高くもち、自尊心と自制心をもてば、必ず第一希望校に合格します。そのために欠かせないのが

「受験生としての自覚」です。

勉強のコツの第二は、効果の上がる学習方法を身に着けることです。

どうすればよく理解できるのか、理解したことを身に着けるにはどうしたらよいか、テストでよい点を取るには、そうしたらよいか等、勉強の仕方が大事です。

予習の仕方、授業の受け方、ノートの取り方、復習の仕方などをよく考え、理解を深めましょう。

理解したことを確実に身に着けるには、音読練習や書き取り練習、計算練習や問題練習が効果的です。

テストでよい点数を取るには、過去に出題された問題(これを過去問といいます)を数年分、徹底的に研究することが効果的です。

まとめノートや間違えた問題を書き写したノートを自分でつくり、何回もやり直すこともお勧めです。

勉強のコツの第三は、読解力を身に着けることです。

各教科の教科書や教材、問題集などを、正確に読んで理解するには、読解力が欠かせません。

各教科の入学試験の問題を試験の時間内にすべて正確に読み解くにも読解力が求められます。

読解力を身に着ける上で最も役に立つのが新聞と読書です。

私は、受験生こそ一日に30分以上、新聞を読むこと、一日に30分以上読書に励むことをお勧めします。受験前日まで、新聞と本を手放さないことです。

教科書や教材、新聞や本を読んでいて、意味がよくわからないことばがあったらどうするか。「気持ち悪い」と考え、辞書でその意味を調べましょう。

辞書で調べたその内容はノートやカードに書き写し、繰り返し読み直し、確実に身に着けましょう。

「ことばは力」です。新聞と読書、辞書を活用して読解力を身に着けましょう。

以上